

星取県で、 星をビジネスに

Let's make stars a business
in Hoshitori Prefecture

世界で一番ワクワクする
ビジネスの話をしよう。



TO SPACE

About space business

宇宙ビジネス について

宇宙ビジネスと言われると
どんなイメージを浮かべるでしょうか。
ロケット？ 人工衛星？ 月面開発？ 宇宙旅行？
国家的で壮大なプロジェクトで、参入は難しい？
実は、近年で状況が大きく変わってきています！



Point 01 主役は官から民へ 民間需要の拡大。

ITの進展や技術革新に伴う開発コストの低下等により、世界的に国家主導型から民間主導型の産業構造へ。今がその転換期を迎えています。日本でも民間企業の技術開発を推進するため、国やJAXAが資金や技術面などにおいて多くの支援を行っています。



Point 02 市場規模拡大 拡大を続ける成長産業。

宇宙ビジネスの世界的な市場規模は、2035年に約260兆円に達するという分析結果があります。(2023年の約3倍) 日本でも市場規模を2030年代早期には8兆円規模に倍増させるという目標を掲げるなど、短期間で急速な市場拡大が見込まれています。



Point 03 幅広い業種にチャンス 宇宙ビジネスのこれから。

技術発展や市場規模の拡大に伴い、様々な関連ビジネスのニーズも高まるとみられています。また、宇宙と他の業種との掛け合わせで新たなビジネスチャンスを生み出す可能性も秘めています。



業種を問わず、宇宙との新しいつながりが生まれています。
あなたの仕事にも、きっとチャンスがある。

さあ、まずはここから。

世界で一番ワクワクするビジネスの話をしましょう。



FROM **TOTTORI**

「宇宙ビジネス」 って遠い話？

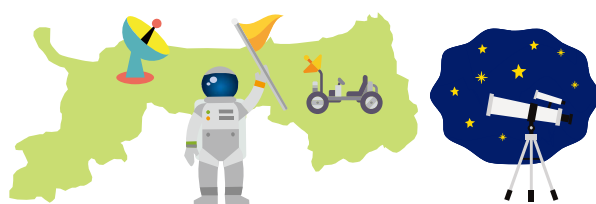
手を伸ばせば届くかも。

最先端すぎる？ 難しそう？ 自分には関係ない？
そう思っていた“宇宙ビジネス”は、意外と身近な存在になっています。あなたのスキルや事業が、宇宙分野で活きるチャンスがここにあります。

鳥取県と宇宙のつながり

全国屈指の星空の美しさから「星取県」として知られた鳥取県。まさに星に手が届きそうな夜空が皆さんのすぐ上にあります。星空と鳥取砂丘、そしてかねてより育まれたものづくり力。これらを掛け合わせて”地域をさらに盛り上げる”。進む次のステップは宇宙産業というフィールドです。

観光施策から産業振興へ



宇宙産業創出に向けた鳥取県のサポート!!



はじめの一步を、共に。

That's One Small Step!



鳥取県は、
宇宙ビジネスに
挑戦する方々を
全力でサポート
いたします。

STEP 01



とっとり 宇宙産業ネットワーク に加入しよう!

宇宙産業創出に向けた学びと出会いの場のネットワークです。どなたでも参加できますので、お気軽にお申込みください。
(R7.10時点で160団体以上が参画)

STEP 02



セミナー等に 参加しよう!

宇宙ビジネスの先駆者を招いたセミナー等を開催しています。知識を深める場、あるいは関係者と繋がる場として、積極的にご参加ください。

STEP 03



支援制度を 活用しよう!

展示会への出展、商談会の開催、研究開発に対する補助金などの支援が満載です。一歩踏み出すためのツールとしてご活用ください。

STEP 04



ルナテラスを 使ってみよう!

鳥取砂丘を月面に見立てた実証フィールドを開設しています。研究開発や実証実験の場、企業・研究者との連携の場としてご使用ください。

鳥取県で宇宙産業創出へ!

宇宙ビジネスに興味を持ち始めた企業へのインタビュー

01

建設コンサル × IT × 宇宙

アイコンヤマト株式会社

代表取締役

信岡 宜暁 氏



Q 以前、宇宙ビジネスに どういったイメージを持っていましたか？

A 当初、宇宙産業は「大手企業が手掛ける仕事」というイメージが強く、我々の仕事として意識したことはありませんでした。しかし、実際にその一端に関わらせていただいたり、「とっとり宇宙産業ネットワーク」に参加して情報収集をしたりするうちに、従来我々がやってきた測量・設計・システム開発などが活かせるチャンスがたくさんあることに気づきました。

Q どのようにして 宇宙産業に挑戦しようと思いましたか？

A 目の前の課題に取り組む中で、自然と宇宙に関わる機会が増えていきました。きっかけは、宇宙に興味がある社員からの「とっとり宇宙産業ネットワークに入りたい」という提案です。ランニングコストがかからず入会しやすかったため、すぐにゴーサインを出しました。その後、ご縁があって鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」の測量設計に携わらせていただきました。現在は、ルナテラスを利用される企業様のサポートや、関連するシステム開発も行っています。もともと色々なことに挑戦する社風なので、宇宙産業を特別視しているわけではありません。近年は宇宙産業以外に、スマート農業にも取り組んでいます。

鳥取砂丘を月面に見立てた実証フィールド「ルナテラス」を測量設計。
ルナテラス利用企業のサポートも行う。土木とITを組み合わせたソリューション、3次元データを利用した技術開発に取り組んでいる。

Q 宇宙産業に挑む中で、 どんなワクワクする未来が見えてきましたか？

A 宇宙産業の展示会に鳥取県ブースの一員として出展させていただいた折に、想像以上に多様な接点が得られたことに驚きました。「宇宙」というキーワードが共通言語となり、コミュニケーションのハードルが下がりました。これまで関係性のなかった業界の方々と具体的な意見交換ができ、新たなコラボレーションやイノベーションが生まれるのではと、強い期待感を抱いています。また、弊社は「土木×IT×宇宙×農業」というスローガンを掲げており、幸いなことに、この独自のビジョンに興味を持ってくださる方が少しずつ増えている実感があります。これまで「地味」と見られがちだった我々の仕事に、新たなイメージと「ワクワク感」が加わり、他社との明確な差別化にも繋がっていると感じています。今後は、「ルナテラス」のような鳥取県ならではの特色を活かした取り組みや、地元企業の挑戦が鍵になると考えます。これらを通じて宇宙産業が鳥取県の大きな産業の一つに成長し、新たなビジネスや雇用を生み出し、地域全体が活性化していく未来を描いています。

02

ステンレス精密加工

有限会社 山本精機

代表取締役

山本 康夫 氏



Q 以前、宇宙ビジネスに どういったイメージを持っていましたか？

A 仕事としては遠い世界の話というイメージでした。自分には全く関係ないような。宇宙に行ってみたいとは思っていましたね。

Q どのようにして 宇宙産業に挑戦しようと思いましたか？

A 3~4年前、鳥取県の方から工場見学できないかと問合せがあり、そこから様々な方との繋がりが生まれまして。それからしばらくして図面と問合せをいただくようになりました。当初、ロケットや衛星の部品というと凄く難しいイメージで、加工精度や素材など簡単にはできないと思っていました。お話をいただいても、情報規制のためこの部品なのかも分からず、後から「実は宇宙に行きました」と聞かされることもありましたね。最初は不安もありましたが、コミュニケーションを重ねる内に、流れや安全管理の仕組みを教えてもらうことで安心して取り組めるようになったんです。実際、難しい部品ばかりではなく、自社の技術で十分対応できるものも多いと分かり、宇宙がぐっと身近に感じられるようになりましたね。

ステンレスの精密加工技術を活かし、衛星やロケットの部品製作を宇宙関連企業から受託している岩美町の「ものづくり企業」。著名タレントが関わる宇宙プロジェクトの衛星部品加工なども手掛け、実際に宇宙に飛び立っている。

Q 宇宙産業に挑む中で、 どんなワクワクする未来が見えてきましたか？

A 企画で衛星に刻印したキャラクターやメッセージが宇宙空間に放出された時は、社員みんなで喜びました。自分たちの手がけたものが宇宙にわたっているという事実は大きな励みになっています。展示会を通じて全国の企業とも繋がることができ、北海道の宇宙関連企業からの依頼もいただくなど、新しい仕事の輪が広がっています。もともとは医療機器分野への進出を目指していましたが、今は宇宙分野の方がむしろ参入しやすいと感じています。挑戦がいのある分野です。宇宙ビジネスはこれからもっと身近になるはず。地元岩美町から関わることができるのは誇らしいことです。下町ロケットのように岩美町から夢を打ち上げられたらいいですね。



株式会社ウエスコ

技術推進本部
技術推進室

今西 将文 博士（工学）



Q 以前、宇宙ビジネスに どういったイメージを持っていたか？

A 私自身、学生時代に地球科学を学び地殻変動などをGPSで観測していました。その頃にSAR衛星によって「地面の変化を面とらえる」技術を知りましたが、仕事に結びつけては考えていませんでした。国や軍事利用などの大きなイメージでした。

Q どのようにして 宇宙産業に挑戦しようと思いましたか？

A 2022年に鳥取県が主導する宇宙産業ネットワークに加入し、青木氏を迎えたセミナーに参加したことです。シンプルに面白く、自社と宇宙分野の親和性や商機が見え、挑戦する意識がはっきり芽生えました。そして何より、会社トップの経営判断と活動の後押しがあり、衛星観測技術の実務利用に取り組み始めました。中長期の経営計画にも位置づけ、自治体の研修や実証実験を通して、課題の可視化から価値創出までを一貫して行う取り組みも進めています。鳥取県からも支援いただき、大きな挑戦をさせていただいています。

衛星データとAI技術を活用し、
”盛土の発見/監視””ダムのアオコ監視”などのシステムを開発中。
社会課題解決に取り組む技術企業。全国で実績を重ねながら、
地方から低コストかつ高精度な解析を提供し大手に挑んでいる。

Q 宇宙産業に挑む中で、 どんなワクワクする未来が見えてきましたか？

A 土木や防災、インフラの維持管理など、暮らしに近い分野で衛星データの活躍の場が広がっています。また、コタツにいながらでも衛星データや解析ソフトを自由に使える素晴らしい時代です。

リモートセンシング（衛星などで遠くから地形や環境を観測する技術）は、単なる「測る」ための手段ではありません。データを組み合わせることで、社会の課題を「ペインからゲイン」へ、つまりマイナスをプラスに変えていくことができます。数字を出すだけでなく、その背後にある物理を理解し、「測る」から「生み出す」へ。コンサルタントとして、将来に向けて地域や社会に新しい価値サービスをデザインすることができる可能性、期待感でいっぱいです。

宇宙ビジネス先駆者からのメッセージ

A message from a pioneer

(一社)SPACE FOODSPHERE 理事／
(株)Space Food Lab. 取締役 CMO

菊池 優太 氏

鳥取では「食×宇宙×地方創生」をテーマにお話しさせていただきました。宇宙食は年々進化をしており、最近では備蓄食をはじめ地上展開も始まっています。また、宇宙での地産地消、地球で培われた食料生産や加工の知恵が、これからの月・火星での暮らしを支えます。農水産業が盛んな鳥取には、保存技術や衛生管理、物流など、宇宙に生かせる力があります。ぜひ宇宙を起点に、鳥取から新しい「食の挑戦」を広げていきましょう。

(株)たすく CEO

古友 大輔 氏

“星取県”鳥取——ここは、宇宙を目指す人と技術が集い、新しい挑戦が生まれる場所です。私たちはこの地で出会った企業と共に開発を進め、設計から製造、試験までを積み上げて衛星を宇宙へ送り出しました。いま、その衛星は地球の軌道を周回しています。規模や場所は関係ありません。技術と情熱があれば、誰もが宇宙へ踏み出せる。鳥取から、共に地球を飛びだしましょう！

宇宙エバンジェリスト*／

(一社)Space Port Japan 共同創業者・理事

青木 英剛 氏

これまで何度も鳥取で登壇してきましたが、会うたびに「宇宙って意外と近い」と感じる人が増えています。宇宙ビジネスは、ものづくり、観光、IT、教育など、あらゆる産業に広がります。必要なのは「宇宙の専門知識」よりも、「自分の強みをどう生かすか」という視点。鳥取の企業が持つ発想と技術が、新しい宇宙を形づくりま。一社でも関心を持ってもらえたら嬉しいですね。これからも鳥取に行きます。

(一社)Space Port Japan 共同創業者・理事／

(株)SpaceData 執行役員 CMO

片山 俊大 氏

鳥取でお話した「宇宙港（スペースポート）」は、ロケットやスペースプレーンの離発着のみならず、観光や教育、エネルギー、ものづくりなどが交わるまちづくりの拠点です。宇宙で活動するだけが宇宙産業ではありません。宇宙の活動を地球から支える。それも宇宙産業です。鳥取の自然や産業の力も、新しい発想を生むきっかけになると思います。

JAXA 宇宙科学研究所 准教授／(株)ロケット
リンクテクノロジー 取締役／元鳥取大学教員

三浦 政司 氏

私はかつて大学教員として10年間を鳥取で過ごし、今はJAXAやスタートアップで宇宙関連の研究開発に取り組んでいます。そんな私から見て、鳥取には宇宙産業に貢献できる素晴らしい環境や技術、そして熱い思いを持つ人々が揃っています。宇宙は決して遠い世界ではなく、想いと工夫があれば誰でも挑戦できる時代になってきています。鳥取から新たな挑戦が次々と生まれ、ともに宇宙を活用して世界をもっと楽しくしていくことを期待しています。

日揮グローバル(株)

月面プラントユニット ユニットリーダー

深浦 希峰 氏

私たちは、月面に「人が暮らし」さらに「持続的な開発」を可能とする月面インフラ構想に挑戦しています。月面で燃料を製造し、水、空気など、すべての資源を循環させるため、地球で培った技術を活かしています。宇宙産業、特に月面開発はこれから黎明期を迎える新しいフィールドです。鳥取の皆さん、ぜひ共に挑戦し、宇宙という新たな現場をつくりましょう。

鳥取県は宇宙産業創出に取り組む
県内企業をサポートしています。



鳥取県 商工労働部
産業未来創造課

お問い合わせはこちら
sangyoumirai@pref.tottori.lg.jp

